令和６年度　学校運営連絡協議会実施報告書

１　組織

（１）都立篠崎高等学校　学校運営連絡協議会（全日制課程）
（２）事務局の構成　副校長、主任教諭(総務主任兼務)＝事務局長　計２名
（３）内部委員の構成　校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当)、主幹教諭(生活指導担当)、主幹教諭（進路指導担当)、主任教諭（総務担当）　計７名
（４）協議委員の構成　近隣中学校長、近隣保育園園長、町会長、同窓会会長、ＰＴＡ会長・副校長
学識経験者２名、警察署、消防署　計１０名

２　令和６年度学校運営連絡協議会の概要

（１）　学校運営連絡協議会（第１～３回）の開催日時、出席者、内容、その他

第１回　令和６年６月６日（木）１５時５０分から１６時５０分まで
内部委員７名、協議委員７名
令和６年度　協議委員及び評価委員委嘱、協議委員等紹介（自己紹介)、令和５年度学校経営報告、令和６年度学校経営計画について、本校の現状等について（報告）

第２回　令和６年１１月７日（木）１５時５０分から１６時５０分まで
内部委員７名、協議委員９名
本校の教育活動について
学校評価アンケートについて

第３回　令和７年２月６日（木）１５時５０分から１６時５０分まで
内部委員７名、協議委員８名
本校の現状について
学校評価アンケート結果・分析・課題等報告

３　学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

（１）　学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

（２）　アンケート調査の実施時期・対象・規模

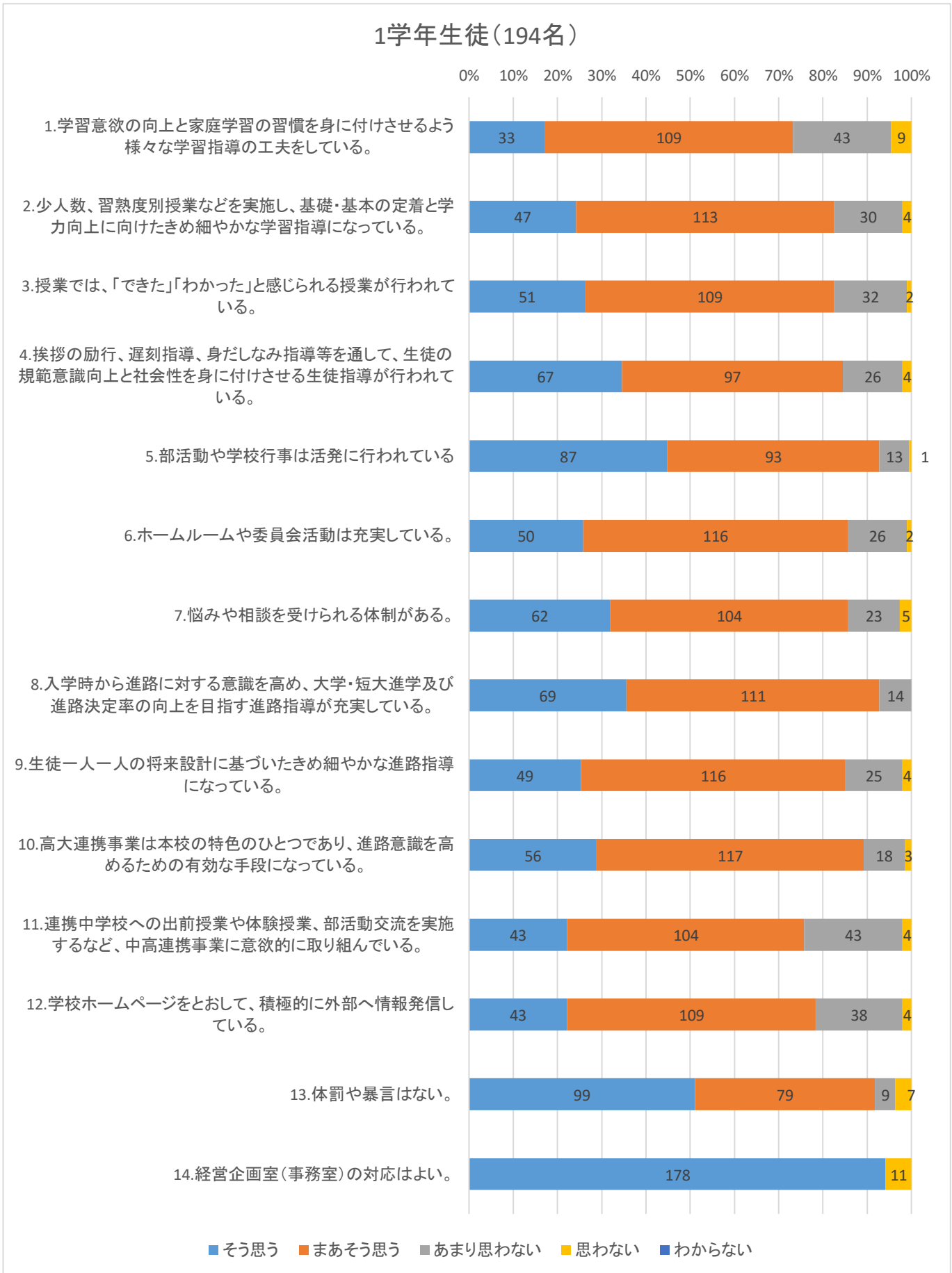
実施時期　令和６年１２月～令和７年１月

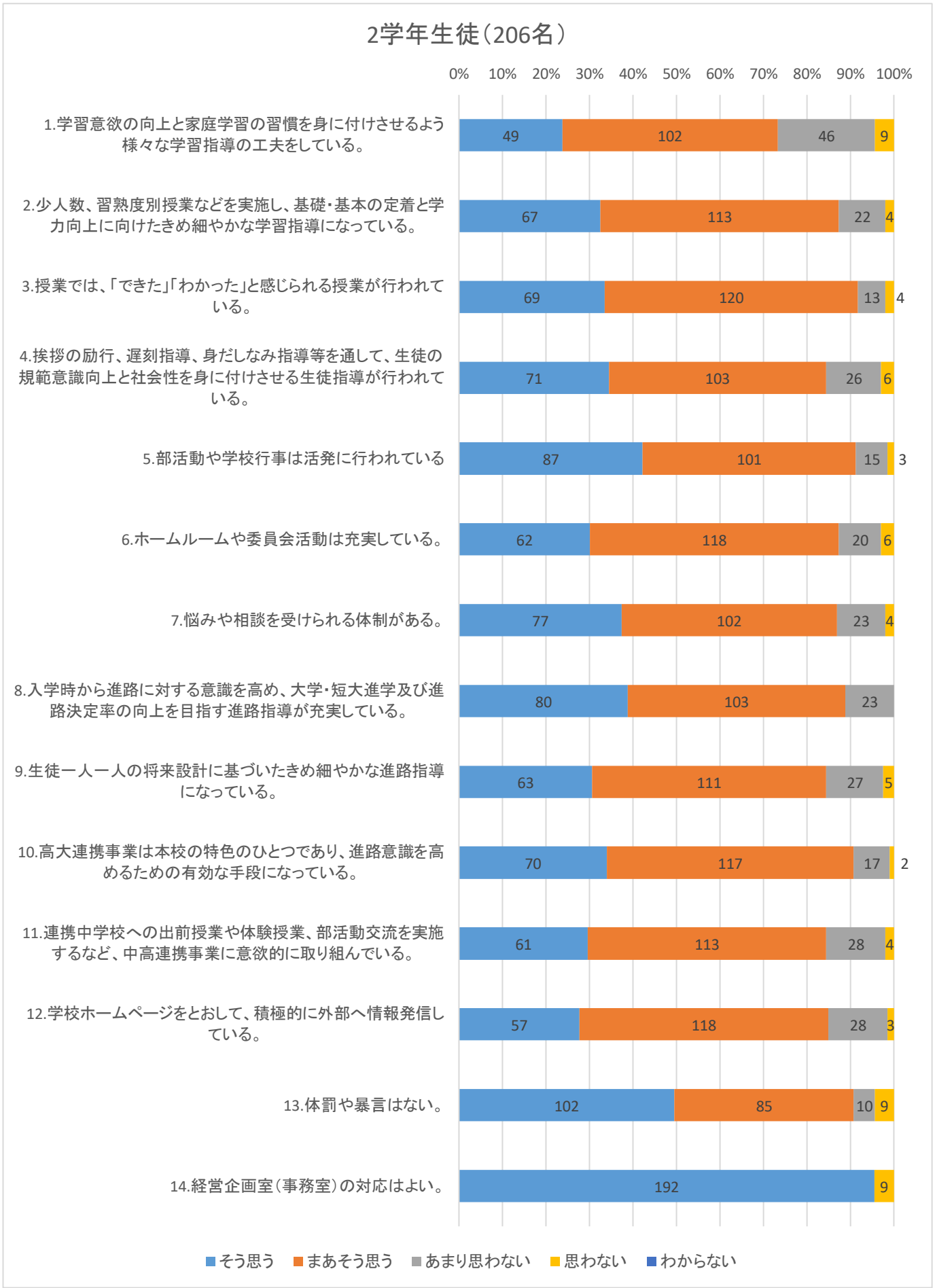
実施対象　生徒・保護者・教職員・地域（江戸川区内中学校・下篠崎町会)

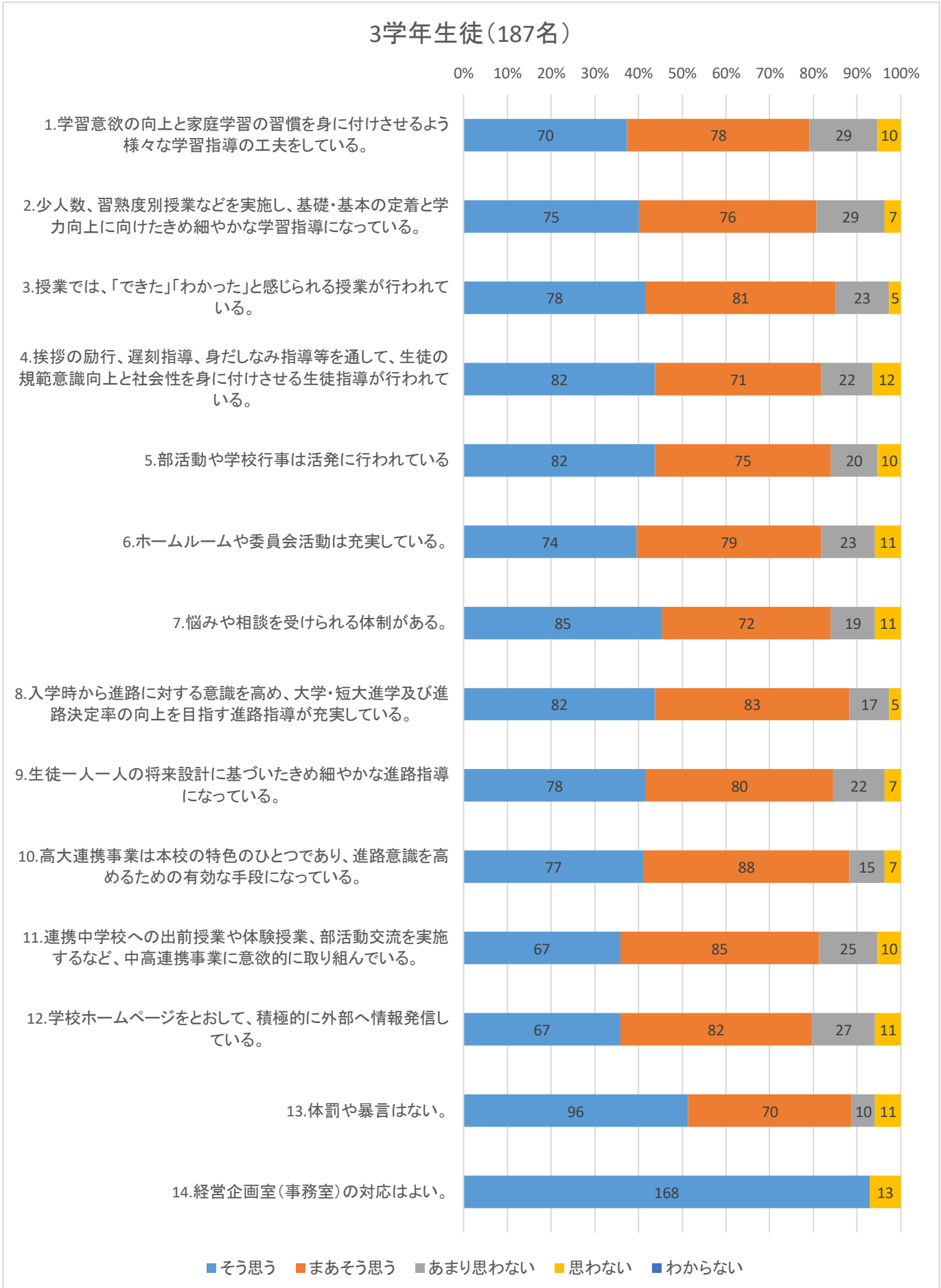
実施方法　生徒・保護者・教職員・・・・Microsoft teams Forms による Web 回答
地域(江戸川区内中学校・下篠崎町会)・・・アンケート用紙による回答

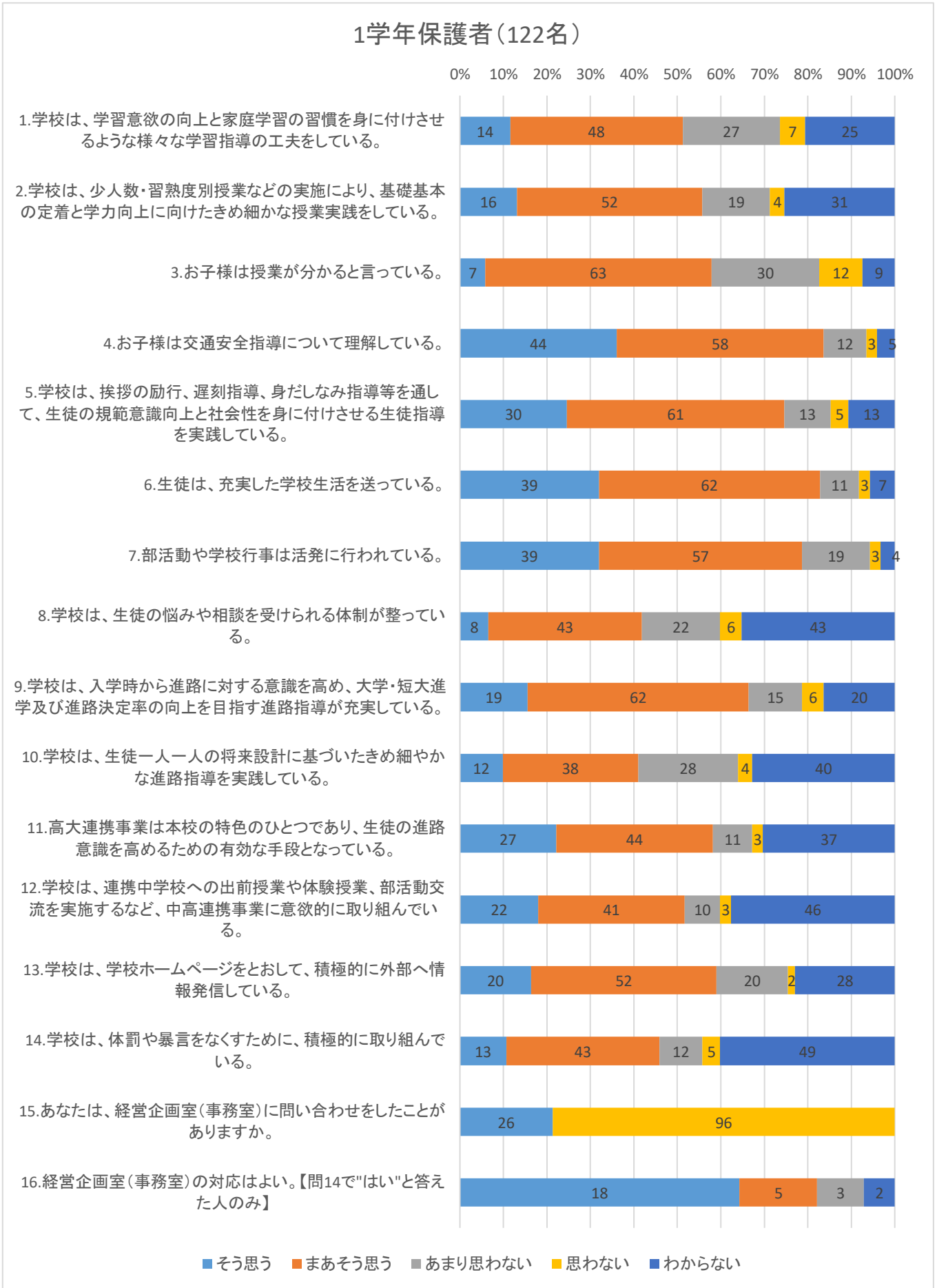
全校生徒	対象：７９６名	回収：５８７名	回収率：　７３％
保 護 者	対象：	回収：２４２名	回収率：　３０％
地　　域	対象：中学校２校・町会	：　１７名	回数率：１００％
教 職 員	対象：　５２名	回収：　５１名	回収率：　９８％

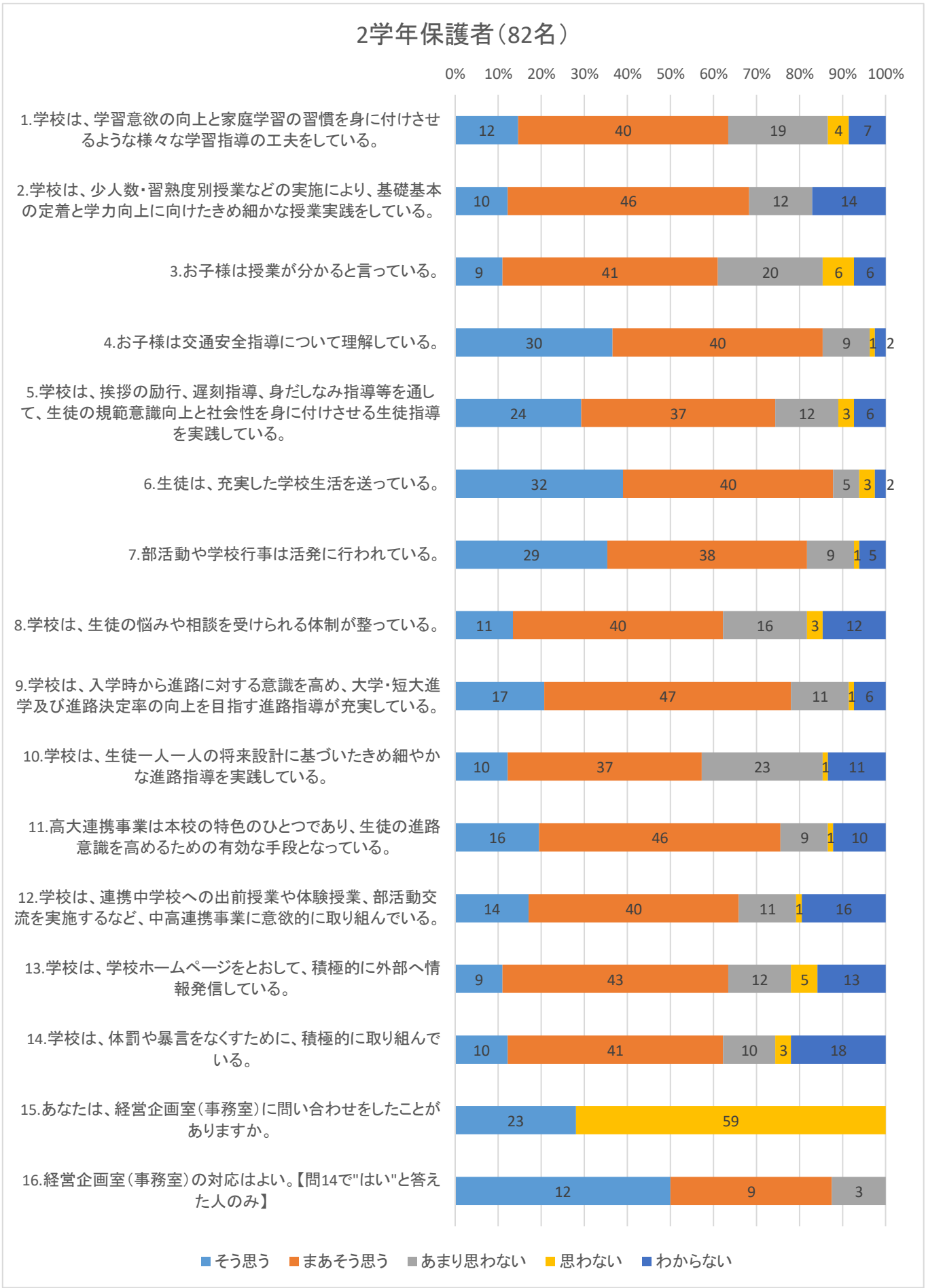
3　学校評価アンケートの結果

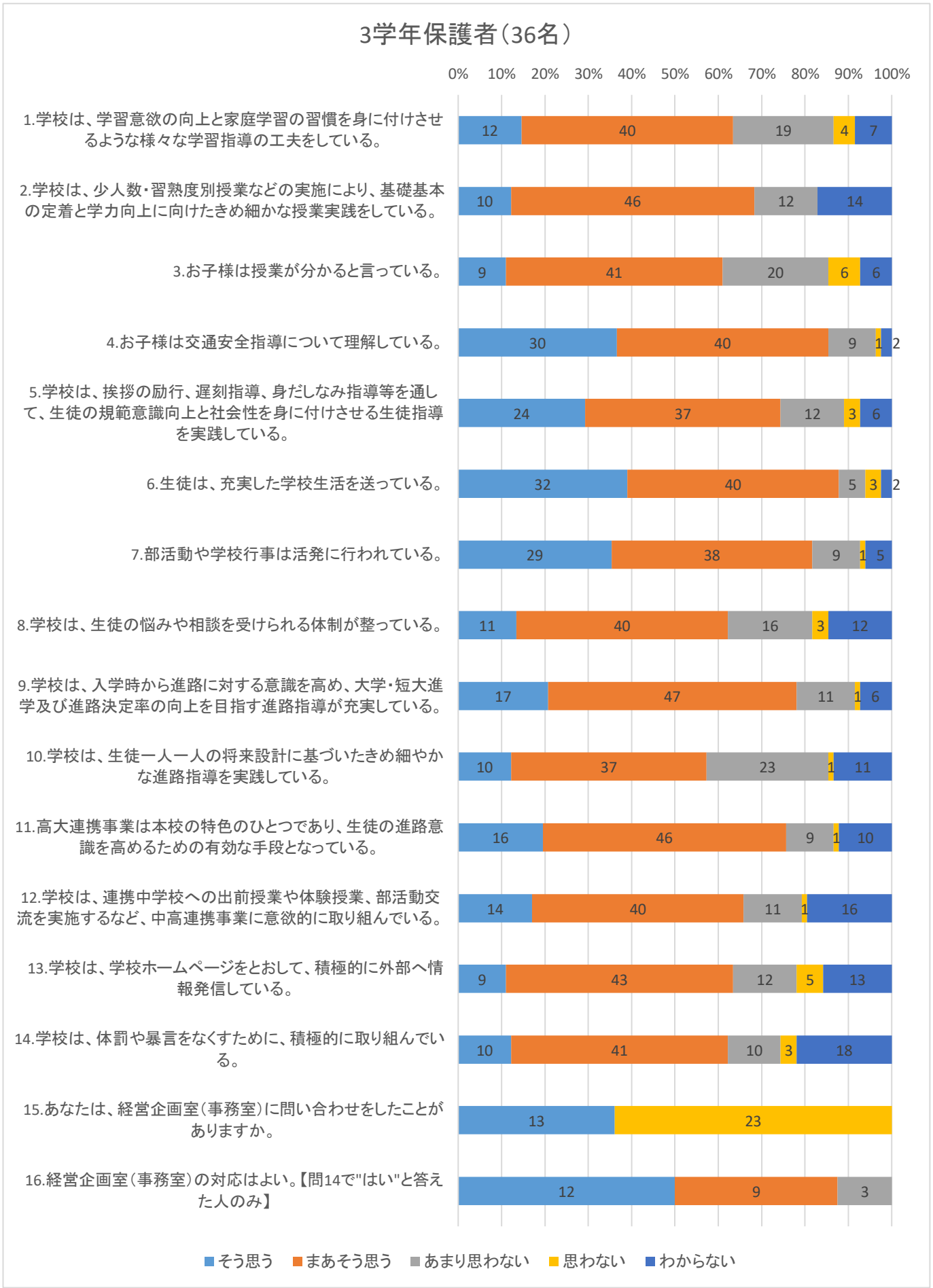


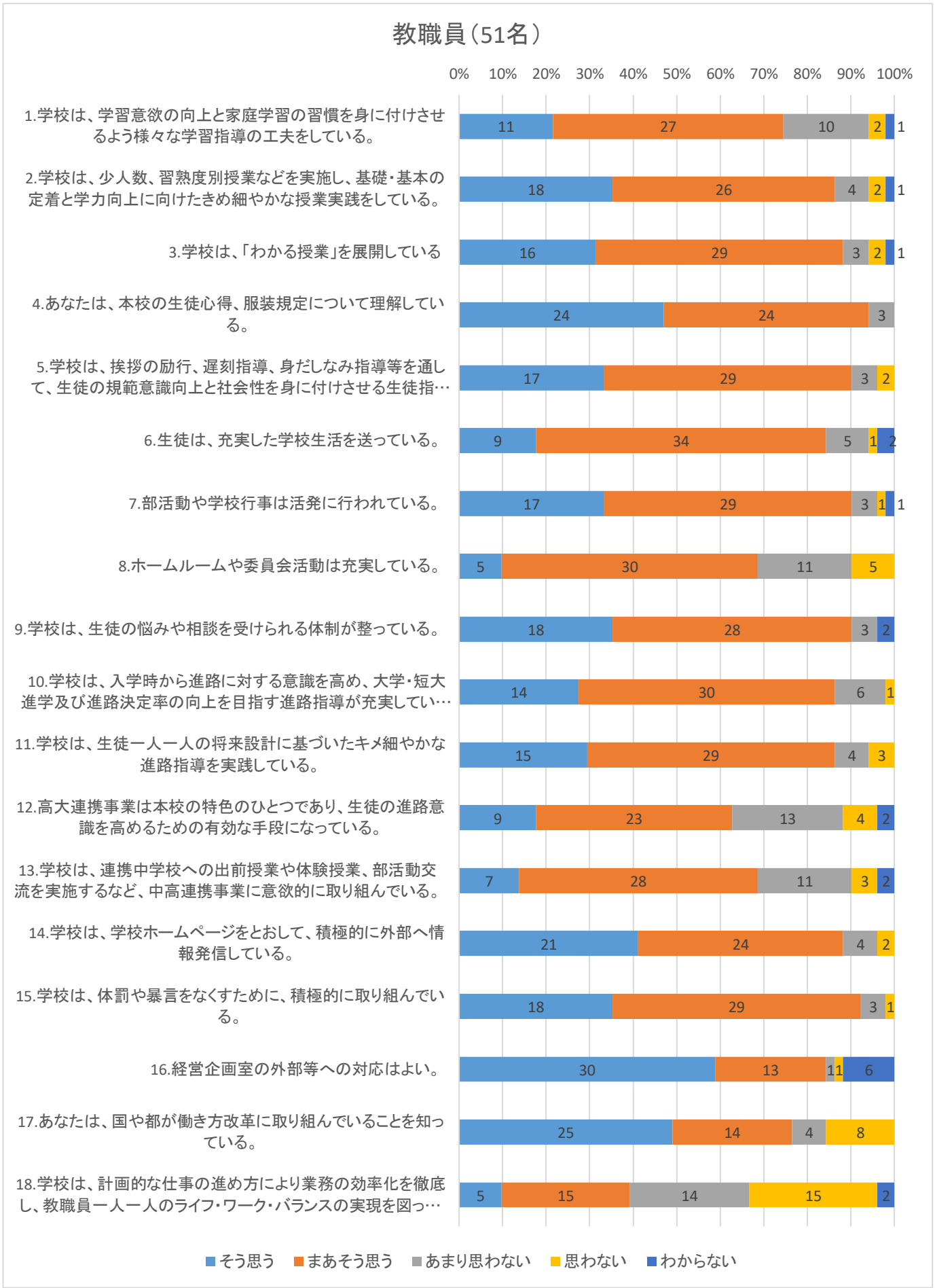

2学年生徒（206名）
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
1.学習意欲の向上と家庭学習の習慣を身に付けさせるよう様々な学習指導の工夫をしている。
49 102 46 9
2.少人数、習熟度別授業などを実施し、基礎・基本の定着と学力向上に向けたきめ細やかな学習指導になっている。
67 113 22 4
3.授業では、「できた」「わかった」と感じられる授業が行われている。
69 120 13 4
4.挨拶の励行、遅刻指導、身だしなみ指導等を通して、生徒の規範意識向上と社会性を身に付けさせる生徒指導が行われている。
71 103 26 6
5.部活動や学校行事は活発に行われている
87 101 15 3
6.ホームルームや委員会活動は充実している。
62 118 20 6
7.悩みや相談を受けられる体制がある。
77 102 23 4
8.入学時から進路に対する意識を高め、大学・短大進学及び進路決定率の向上を目指す進路指導が充実している。
80 103 23
9.生徒一人一人の将来設計に基づいたきめ細やかな進路指導になっている。
63 111 27 5
10.高大連携事業は本校の特色のひとつであり、進路意識を高めるための有効な手段になっている。
70 117 17 2
11.連携中学校への出前授業や体験授業、部活動交流を実施するなど、中高連携事業に意欲的に取り組んでいる。
61 113 28 4
12.学校ホームページをとおして、積極的に外部へ情報発信している。
57 118 28 3
13.体罰や暴言はない。
102 85 10 9
14.経営企画室（事務室）の対応はよい。
192 9
そう思う
まあそう思う
あまり思わない
思わない
わからない

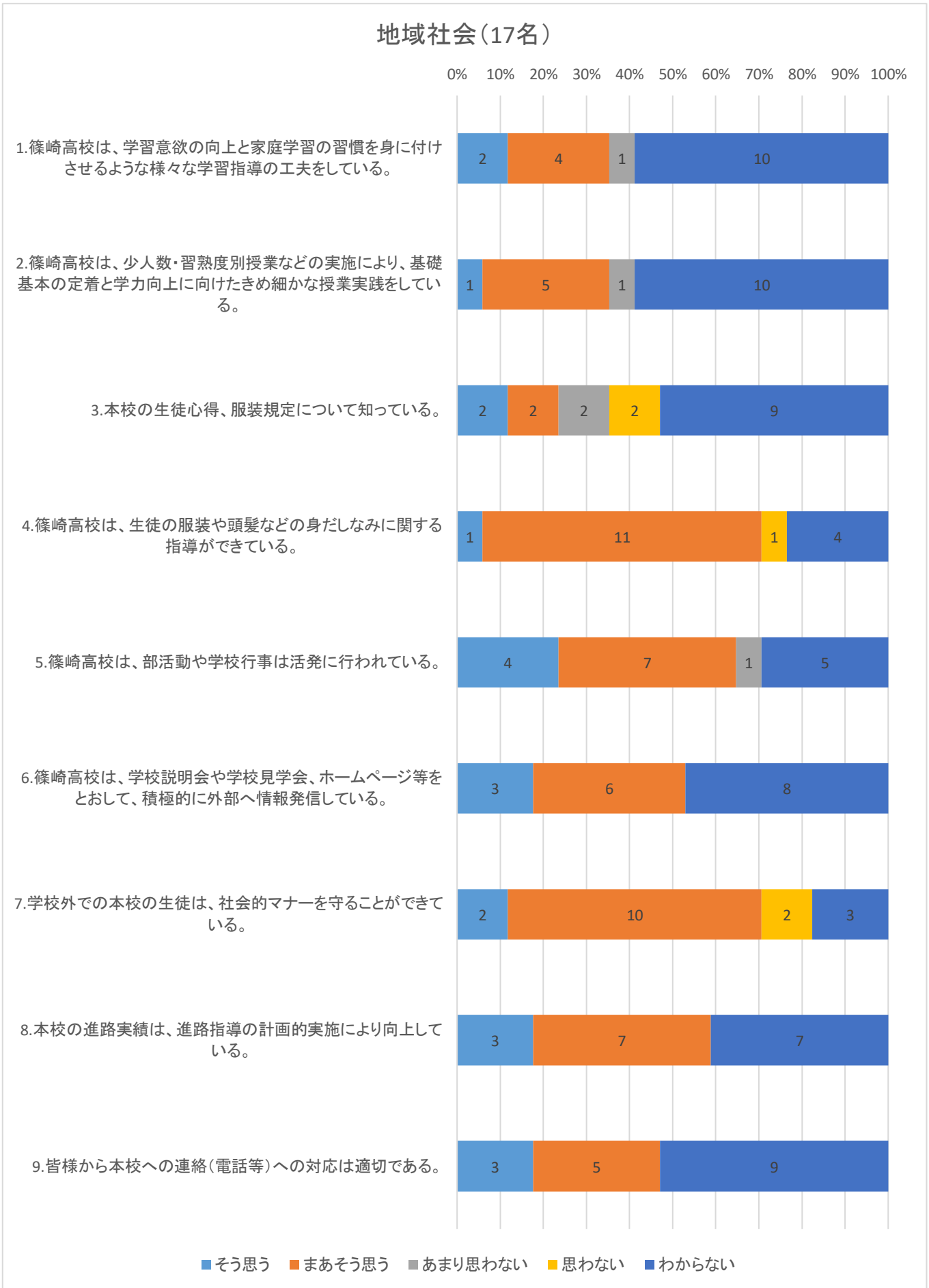

3学年生徒（187名）
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
1.学習意欲の向上と家庭学習の習慣を身に付けさせるよう様々な学習指導の工夫をしている。
70 78 29 10
2.少人数、習熟度別授業などを実施し、基礎・基本の定着と学力向上に向けたきめ細やかな学習指導になっている。
75 76 29 7
3.授業では、「できた」「わかった」と感じられる授業が行われている。
78 81 23 5
4.挨拶の励行、遅刻指導、身だしなみ指導等を通して、生徒の規範意識向上と社会性を身に付けさせる生徒指導が行われている。
82 71 22 12
5.部活動や学校行事は活発に行われている
82 75 20 10
6.ホームルームや委員会活動は充実している。
74 79 23 11
7.悩みや相談を受けられる体制がある。
85 72 19 11
8.入学時から進路に対する意識を高め、大学・短大進学及び進路決定率の向上を目指す進路指導が充実している。
82 83 17 5
9.生徒一人一人の将来設計に基づいたきめ細やかな進路指導になっている。
78 80 22 7
10.高大連携事業は本校の特色のひとつであり、進路意識を高めるための有効な手段になっている。
77 88 15 7
11.連携中学校への出前授業や体験授業、部活動交流を実施するなど、中高連携事業に意欲的に取り組んでいる。
67 85 25 10
12.学校ホームページをとおして、積極的に外部へ情報発信している。
67 82 27 11
13.体罰や暴言はない。
96 70 10 11
14.経営企画室（事務室）の対応はよい。
168 13
そう思う
まあそう思う
あまり思わない
思わない
わからない


1学年保護者（122名）
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
1.学校は、学習意欲の向上と家庭学習の習慣を身に付けさせるような様々な学習指導の工夫をしている。
14 48 27 7 25
2.学校は、少人数・習熟度別授業などの実施により、基礎基本の定着と学力向上に向けたきめ細かな授業実践をしている。
16 52 19 4 31
3.お子様は授業が分かると言っている。
7 63 30 12 9
4.お子様は交通安全指導について理解している。
44 58 12 3 5
5.学校は、挨拶の励行、遅刻指導、身だしなみ指導等を通して、生徒の規範意識向上と社会性を身に付けさせる生徒指導を実践している。
30 61 13 5 13
6.生徒は、充実した学校生活を送っている。
39 62 11 3 7
7.部活動や学校行事は活発に行われている。
39 57 19 3 4
8.学校は、生徒の悩みや相談を受けられる体制が整っている。
8 43 22 6 43
9.学校は、入学時から進路に対する意識を高め、大学・短大進学及び進路決定率の向上を目指す進路指導が充実している。
19 62 15 6 20
10.学校は、生徒一人一人の将来設計に基づいたきめ細やかな進路指導を実践している。
12 38 28 4 40
11.高大連携事業は本校の特色のひとつであり、生徒の進路意識を高めるための有効な手段となっている。
27 44 11 3 37
12.学校は、連携中学校への出前授業や体験授業、部活動交流を実施するなど、中高連携事業に意欲的に取り組んでいる。
22 41 10 3 46
13.学校は、学校ホームページをとおして、積極的に外部へ情報発信している。
20 52 20 2 28
14.学校は、体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。
13 43 12 5 49
15.あなたは、経営企画室（事務室）に問い合わせをしたことがありますか。
26 96
16.経営企画室（事務室）の対応はよい。【問14で"はい"と答えた人のみ】
18 5 3 2
そう思う
まあそう思う
あまり思わない
思わない
わからない


2学年保護者（82名）
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
1.学校は、学習意欲の向上と家庭学習の習慣を身に付けさせるような様々な学習指導の工夫をしている。
12 40 19 4 7
2.学校は、少人数・習熟度別授業などの実施により、基礎基本の定着と学力向上に向けたきめ細かな授業実践をしている。
10 46 12 14
3.お子様は授業が分かると言っている。
9 41 20 6 6
4.お子様は交通安全指導について理解している。
30 40 9 1 2
5.学校は、挨拶の励行、遅刻指導、身だしなみ指導等を通して、生徒の規範意識向上と社会性を身に付けさせる生徒指導を実践している。
24 37 12 3 6
6.生徒は、充実した学校生活を送っている。
32 40 5 3 2
7.部活動や学校行事は活発に行われている。
29 38 9 1 5
8.学校は、生徒の悩みや相談を受けられる体制が整っている。
11 40 16 3 12
9.学校は、入学時から進路に対する意識を高め、大学・短大進学及び進路決定率の向上を目指す進路指導が充実している。
17 47 11 1 6
10.学校は、生徒一人一人の将来設計に基づいたきめ細やかな進路指導を実践している。
10 37 23 1 11
11.高大連携事業は本校の特色のひとつであり、生徒の進路意識を高めるための有効な手段となっている。
16 46 9 1 10
12.学校は、連携中学校への出前授業や体験授業、部活動交流を実施するなど、中高連携事業に意欲的に取り組んでいる。
14 40 11 1 16
13.学校は、学校ホームページをとおして、積極的に外部へ情報発信している。
9 43 12 5 13
14.学校は、体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。
10 41 10 3 18
15.あなたは、経営企画室（事務室）に問い合わせをしたことがありますか。
23 59
16.経営企画室（事務室）の対応はよい。【問14で"はい"と答えた人のみ】
12 9 3
そう思う
まあそう思う
あまり思わない
思わない
わからない


3学年保護者（36名）
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
1.学校は、学習意欲の向上と家庭学習の習慣を身に付けさせるような様々な学習指導の工夫をしている。
12 40 19 4 7
2.学校は、少人数・習熟度別授業などの実施により、基礎基本の定着と学力向上に向けたきめ細かな授業実践をしている。
10 46 12 14
3.お子様は授業が分かると言っている。
9 41 20 6 6
4.お子様は交通安全指導について理解している。
30 40 9 1 2
5.学校は、挨拶の励行、遅刻指導、身だしなみ指導等を通して、生徒の規範意識向上と社会性を身に付けさせる生徒指導を実践している。
24 37 12 3 6
6.生徒は、充実した学校生活を送っている。
32 40 5 3 2
7.部活動や学校行事は活発に行われている。
29 38 9 1 5
8.学校は、生徒の悩みや相談を受けられる体制が整っている。
11 40 16 3 12
9.学校は、入学時から進路に対する意識を高め、大学・短大進学及び進路決定率の向上を目指す進路指導が充実している。
17 47 11 1 6
10.学校は、生徒一人一人の将来設計に基づいたきめ細やかな進路指導を実践している。
10 37 23 1 11
11.高大連携事業は本校の特色のひとつであり、生徒の進路意識を高めるための有効な手段となっている。
16 46 9 1 10
12.学校は、連携中学校への出前授業や体験授業、部活動交流を実施するなど、中高連携事業に意欲的に取り組んでいる。
14 40 11 1 16
13.学校は、学校ホームページをとおして、積極的に外部へ情報発信している。
9 43 12 5 13
14.学校は、体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。
10 41 10 3 18
15.あなたは、経営企画室（事務室）に問い合わせをしたことがありますか。
13 23
16.経営企画室（事務室）の対応はよい。【問14で"はい"と答えた人のみ】
12 9 3
そう思う
まあそう思う
あまり思わない
思わない
わからない


教職員（51名）
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1.学校は、学習意欲の向上と家庭学習の習慣を身に付けさせるよう様々な学習指導の工夫をしている。
11
27
10
2
1
2.学校は、少人数、習熟度別授業などを実施し、基礎・基本の定着と学力向上に向けたきめ細やかな授業実践をしている。
18
26
4
2
1
3.学校は、「わかる授業」を展開している
16
29
3
2
1
4.あなたは、本校の生徒心得、服装規定について理解している。
24
24
3
5.学校は、挨拶の励行、遅刻指導、身だしなみ指導等を通して、生徒の規範意識向上と社会性を身に付けさせる生徒指…
17
29
3
2
6.生徒は、充実した学校生活を送っている。
9
34
5
1
2
7.部活動や学校行事は活発に行われている。
17
29
3
1
1
8.ホームルームや委員会活動は充実している。
5
30
11
5
9.学校は、生徒の悩みや相談を受けられる体制が整っている。
18
28
3
2
10.学校は、入学時から進路に対する意識を高め、大学・短大進学及び進路決定率の向上を目指す進路指導が充実してい…
14
30
6
1
11.学校は、生徒一人一人の将来設計に基づいたキメ細やかな進路指導を実践している。
15
29
4
3
12.高大連携事業は本校の特色のひとつであり、生徒の進路意識を高めるための有効な手段になっている。
9
23
13
4
2
13.学校は、連携中学校への出前授業や体験授業、部活動交流を実施するなど、中高連携事業に意欲的に取り組んでいる。
7
28
11
3
2
14.学校は、学校ホームページをとおして、積極的に外部へ情報発信している。
21
24
4
2
15.学校は、体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。
18
29
3
1
16.経営企画室の外部等への対応はよい。
30
13
1
1
6
17.あなたは、国や都が働き方改革に取り組んでいることを知っている。
25
14
4
8
18.学校は、計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を図っ…
5
15
14
15
2
そう思う
まあそう思う
あまり思わない
思わない
わからない


地域社会（17名）
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1.篠崎高校は、学習意欲の向上と家庭学習の習慣を身に付けさせるような様々な学習指導の工夫をしている。
2 4 1 10
2.篠崎高校は、少人数・習熟度別授業などの実施により、基礎基本の定着と学力向上に向けたきめ細かな授業実践をしている。
1 5 1 10
3.本校の生徒心得、服装規定について知っている。
2 2 2 2 9
4.篠崎高校は、生徒の服装や頭髪などの身だしなみに関する指導ができている。
1 11 1 4
5.篠崎高校は、部活動や学校行事は活発に行われている。
4 7 1 5
6.篠崎高校は、学校説明会や学校見学会、ホームページ等をとおして、積極的に外部へ情報発信している。
3 6 8
7.学校外での本校の生徒は、社会的マナーを守ることができている。
2 10 2 3
8.本校の進路実績は、進路指導の計画的実施により向上している。
3 7 7
9.皆様から本校への連絡（電話等）への対応は適切である。
3 5 9
そう思う
まあそう思う
あまり思わない
思わない
わからない

４　結果分析と次年度への課題

●生徒・保護者・教職員共通

教務部に関する項目　　１・　２・　３
生徒部に関する項目　　４・　５・　６・７
進路部に関する項目　　８・　９・ 10
総務部に関する項目　 11・ 12
企画室に関する項目　 14
学校全体に関する項目　13

●地域社会（近隣住民）

教務部に関する項目　　１・　２
生徒部に関する項目　　３・　４・　５・７
進路部に関する項目　　８
総務部に関する項目　　６
企画室に関する項目　　９

（1）　教務部による分析と課題

【 分　析 】

・大半の生徒、保護者が学校行事や学習活動に対して肯定的な思いをもっていただけていると分析できる。ただ、その認識の幅は大きいと考えるので、取り組み状況を周知していく必要があると考える。実際の生徒の成長を保護者が見ることができていないことが一つの課題であると考える。

【 課　題 】

・学習の取り組み状況等、そういった事もホームページなどで発表していくことができればよいと考える。
・少人数や習熟度別学習については、教科ごとに検討を加え、さらに充実したものになるように働きかけていく。

（2）　生徒指導部による分析と課題

【 分　析 】

「そう思う」「まあそう思う」・・・肯定的、「あまり思わない」「思わない」・・・否定的

⑴ 挨拶・遅刻指導・身だしなみ指導について　肯定的　生徒 83.7%、保護者 75.6%、教員 90.0%、地域 70.6%
否定的　生徒 16.3%、保護者 15.9%、教員 10.0%、地域 5.9%
わからない　保護者 8.6%、地域 23.5%

⑵ 部活動や学校行事について　肯定的　生徒 90.3%、保護者 82.4%、教員 96.7%、地域 64.7%
否定的　生徒 9.7%、保護者 13.6%、教員 3.3%、地域 5.9%
わからない　保護者 4.1%、地域 29.4%

⑶ ＨＲや委員会活動について　肯定的　生徒 84.2%、教員 70.0%
否定的　生徒 15.7%、教員 30.0%

⑷ 悩みや相談について　　肯定的　生徒 85.7%、保護者 57.4%、教員 96.5%
否定的　生徒 14.3%、保護者 19.9%、教員 3.4%
わからない　保護者 22.6%

⑸ 生徒心得の理解　　肯定的　教員 100.0%、地域 23.6%
否定的　教員 0.0%、地域 23.6%
わからない　地域 52.9%

⑹ 生徒の充実について　　肯定的　保護者 83.7%、教員 93.4%
否定的　保護者 10.9%、教員 6.6%
わからない　保護者 5.4%

⑺ 社会的マナーを守っている（地域）　　肯定的 70.6%、否定的 11.8%、わからない 17.6%

⑻ 交通安全指導への理解（保護者）　　肯定的 86.0%、否定的 10.4%、わからない 3.6%

【課　題 】
(引き続き)自転車マナー啓発（ヘルメット着用など）
・校内盗難についての保護者への周知
・教員間の指導方針の共通理解（挨拶についても含めて）
・地域住民の方に本校の活動をもっと知ってもらう方策（ＨＰなど）

（3）　進路指導部による分析と課題

【 分　析 】
・生徒は「進路指導の充実」、「きめ細やかな進路指導」、「高大連携」については、昨年度に引き続き、どの学年も 8 割以上が肯定している。3 年間の体系的な進路行事計画や、全教員による 3 年生の受験指導、1,2 年生の段階から小論文や面接の対策を行うなどの成果であると考える。
・一方、保護者については全ての項目について生徒よりポイントが下がり、特に「きめ細やかな進路指導」については、4 割から 5 割程度であることから、学校での活動内容や面談の様子など保護者に伝わっていないことがあるのではないかと思われる。一部の進路行事については今年度より HP に掲載されているが、なかなか保護者へ伝える機会が少ないのも原因であると考える。

【 課　題 】
・大学・短大、看護の専門学校の小論文、志望理由書、面接等の指導を全教員で担当するようになって３年が経過した。年内入試の需要が増える中で、３年生の指導だけでなく、1,2 年生のうちから準備をしていかないと間に合わなくなるため、段階的な指導方法を改善していきたい。
・進路の取り組みについて、保護者へ発信できる方法や進路について、生徒、保護者間で話せる機会を面談以外でも設けられないか検討していく。

（4） 総務部による分析と課題

【分 析】
生徒の８割がホームページでの情報更新に満足している一方で、保護者は半数が不十分であるとの認識である。

【課 題】
「ホームページを活用して、情報を発信してほしい」という意見は毎年多く寄せられている。今年度から本格稼働しているClassiを活用し、学校からの連絡が確実に保護者へ伝達されるよう、学校全体で取り組んでいく。
また、中学生やその保護者に対しては今年度同様に、ホームページで学校行事・部活動・委員会などの活動、探究学習の発表など、外部にアピールできるものを随時更新していく。

（5） 経営企画室による分析と課題

【分 析】
経営企画室の対応に関する質問について、全体的に肯定的な回答であった。しかし、一部の回答に否定的なものもあった。

【課 題】
経営企画室として、日頃から正確・丁寧な窓口・電話対応を心掛けている。
本アンケートの結果を受け、これまでの対応を継続する。
また、特に制度に関する説明について、正確な説明を行うようにしていく。

（1） １学年による分析と課題

【分 析】
１学年保護者の回答は43%と、全学年を見ても回答率が一番高く、『そう思う』『まあそう思う』といった肯定的な回答が 90%以上となっており、学校に対する信用を感じさせる結果となっている。また、生徒に関しては、100%の項目で肯定的な回答となっており、学校生活における満足度を感じさせる結果となった。

【課 題】
保護者の回答の中で、『学校は生徒の悩みや相談を受けられる体制が整っている』の項目において、否定的な回答が多かった点をみると、特に担任と生徒との会話をさらに増やしつつ、カウンセラーや他の担任に頼りながらコミュニケーションをとっていくことも必要だと考えた。
また、生徒の自由意見の中に、いけないことの理由を教えてほしいという声があったので、より対話を密にして、生徒に呼び掛けていく。

（2）　2学年による分析と課題

【分　析】

２学年の回答率は生徒が 80%ほど、保護者からは 30%ほどの回答を得た。生徒の回答で「まあそう思う」以上の肯定的な回答は、学習（教務）に関する 3 項目では概ね 90%以上を占め、⑴のみ 70%程度に留まる。学校生活（生活指導）についても概ね 90%以上を占め、⑷のみ 80 程度、進路（進路指導）についても同様で、これは⑼のみ 90%を割り込んだ。広報（総務）に関してはいずれも 80%以上、経営企画室の対応にも 90%以上と肯定的な回答が目立つ。

これに対して、保護者の回答を見ると、生徒の回答に対して低い数値を示すことが読み取れる。学習に関する⑵⑶、学校生活に関する⑺、進路に関する⑼⑽、広報に関する⑾⑿に関し、20%～30%程度下回っている。
生徒の回答を１年次の結果と比較すると、学習(教務)に関する項目⑴で 10%程度下降、他は上昇しており、学校生活（生活指導）では⑹、進路（進路指導）では⑻⑽が数%下降している。保護者の回答では、いずれも下降傾向が見られた。

自由意見では、生徒、保護者共に、進路を見据えた学習指導に力を入れてほしいという要望が複数見られ、防犯や挨拶の励行、Classi の積極的な活用についての意見が寄せられている。

【課　題】

自由意見に見られた様々な要望については、学年を中心に学校全体に協力を求め、応えられるよう努力したい。一方で、「防犯」や「修学旅行」の配信は Classi ですでに行っている。「修学旅行」については、保護者の情報の読み取りや受け取りから誤解が生じているものと判断される。この要因に、添付データの見方が分からないことが考えられる。今後は、その読み取り方を明示するなど保護者に配慮した配信を行うようにする。

コメントでは、修学旅行に触れて「先生も楽しめるような…」と書かれた内容に心温まる思いがした。また、「これまでは女性担任でしたが…」というコメントについては、昨年度、学年の教員が三者面談で「子どもの担任教諭が小学校からずっと女性だった。」と話されたことや生徒個票に書かれた記述を拾い、その要望に応えて実現させたことだ。このことを踏まえ、現担任に寄せられた意見等も非常にうれしく、改めてよかったと実感し、励まされる思いである。

最後に、アンケート結果に見られる数値や自由意見だけでは見えてこない考えや思いもある。このことも考慮しながら、これからの教育活動全体を検証して、生徒の夢の実現や学校生活の充実に繋げられるよう、保護者の理解や協力を得ながら組織的に見直していく必要がある。

（3）　3学年による分析と課題

【分　析】

生徒アンケートについては、全 14 項目のうち全ての項目において「１、そう思う」「２、まあそう思う」と肯定的に評価した割合が 80%を越えており、その中でも３項目においては 90%を越える結果であった。１年時では新型コロナウイルスの影響により学習活動に様々な制限があったが、徐々に通常の学校生活に戻っていく中で、やりがいや満足感を感じている生徒が多かったことがうかがえる。

【課　題】

保護者アンケートにおいて、主に進路指導についての項目が低い評価となった。進路選択が間近となった３年時から本格的に進路指導を開始するのではなく、入学した直後から授業をはじめとした学習指導、　また個の希望に応じた進路指導を今後さらに充実させることで、早い段階から様々な知識をもったうえで適切な進路選択ができるような指導が必要である。

補助資料【自由意見欄より】

地域社会

・登校時に自転車を猛スピードで走り抜ける生徒さんをよく見かけるので交通事故に遭わないかと心配です。
・家の前学生が通ります。特別気になりません。
・通勤中の生徒さんをお見かけしますが、皆さん明るいように思います。
・まじめでルールを守っている印象です！
・学生のマナーが良くなってきていると感じます！
・自転車の交通ルールを一部の生徒は守っていなく、小学生の児童の横断歩道、交差点の旗振りをしている最中に、信号無視して、自転車で通り過ぎてしまう生徒がいます。 なかには、必ず止まって、ヘルメットをかぶっている良い生徒もいます。
・自転車のルールをまもって通学をしています。
・詳細についてはよくわかりませんが、前回のアンケート時より向上している様に思われます。 地域の高校として自慢できる様、更なる発展を願っております。
・自転車のマナー一部の生徒守っているようですがまだまだです。 学校の生徒の指導には限界がある？
※家庭での生活の指導のほうが大事です。

「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

（1）協議委員人数　9人
（2）学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
4	2		2			1

職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果
【実績】なし